

災害医療派遣チーム「東京DMAT(Disaster Medical Assistance Team)」について

目的

大震災等の自然災害をはじめ、大規模交通事故等の都市型災害の現場（以下「現場」という。）へ出場し、消防隊等と連携して多数傷病者等に対して救命処置等の活動を行う医療チームであり、東京都は、都内25医療機関を「東京DMAT指定病院」に指定し、約1,000名の隊員が活動している。

1 東京DMATの主な活動について

- ・局所災害等における救命処置等の現場活動
- ・都内において、大規模地震災害等が発生した場合の活動
- ・都内において、NBC災害が発生、若しくはその可能性がある場合の活動
- ・都外において、大規模な災害が発生した場合の活動
- ・各種研修・消防等の関係機関と連携した災害対応訓練等への参加

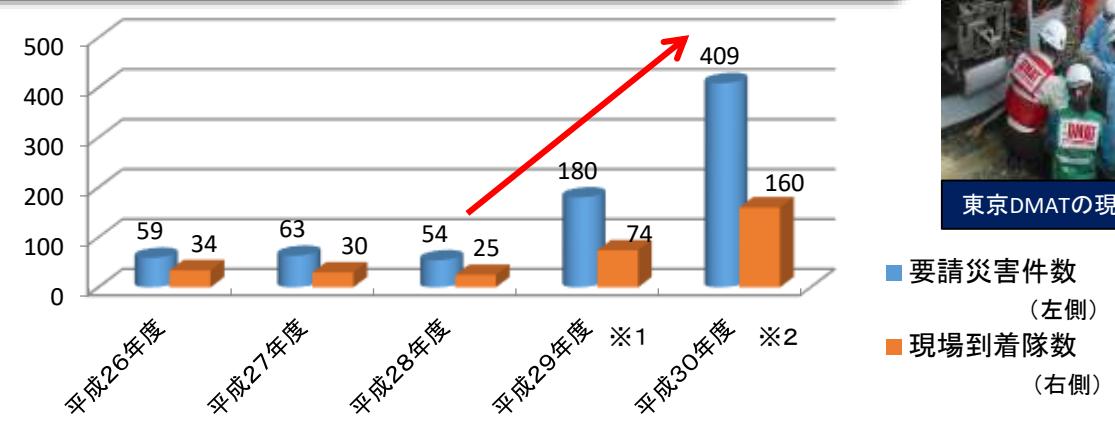


2 東京DMATの特性等について

- ・東京の救急災害医療の仕組みを熟知している。
東京の地理的特性（地理・道路・医療機関の配置）と医療状況（救命センター、災害拠点病院等の配置、被害想定に照らした医療ニーズの予測）を熟知している。
- ・各種研修・訓練、活動を通じて、現場医療への深い理解がある。
- ・災害医療の経験豊富な約1000名の隊員で組織されている。
- ・都内での大規模地震災害等や都外派遣に使用する「東京DMATカー」を全施設が保有

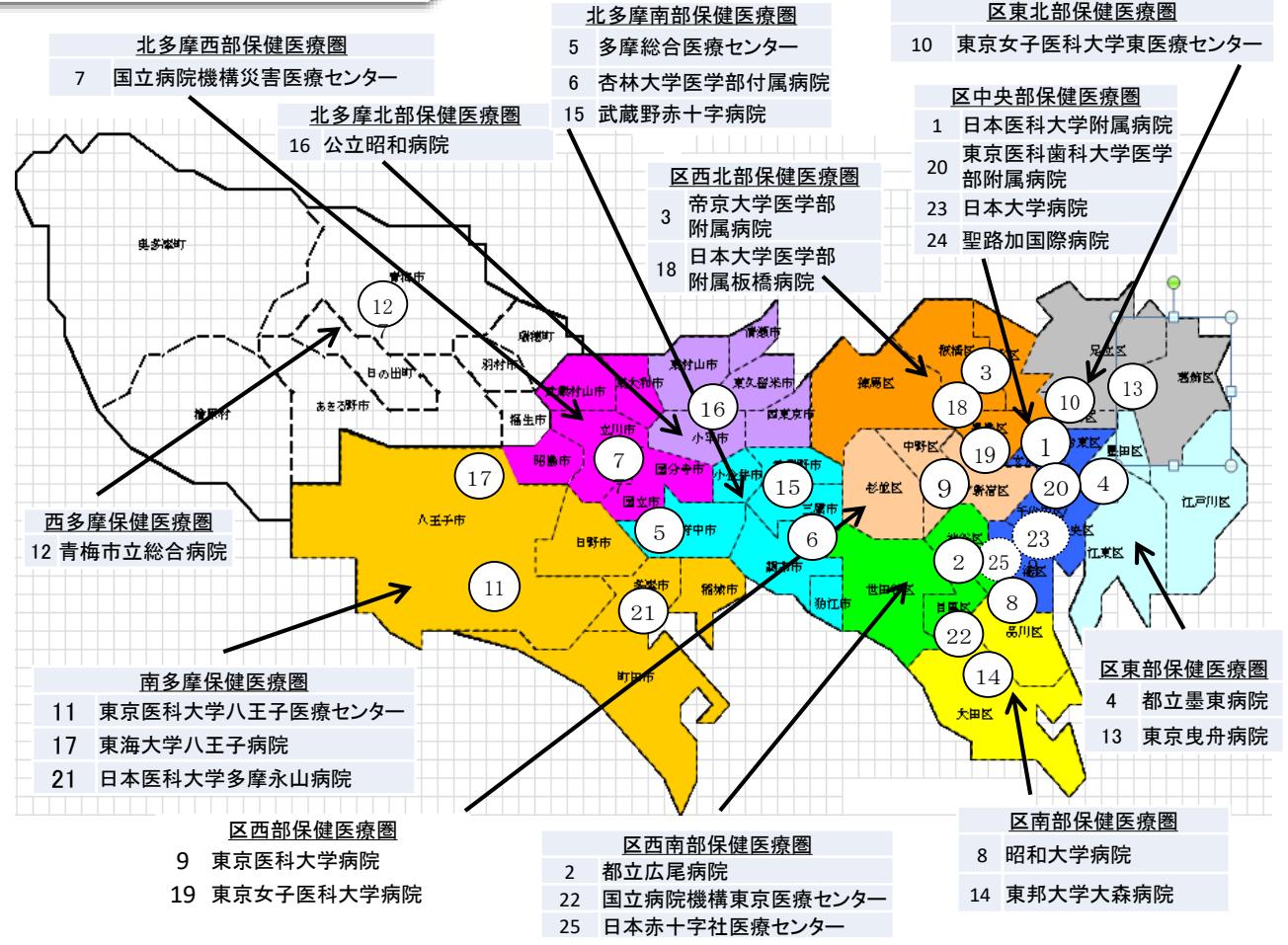
3 東京DMATの主な活動内容について

(1) 多くの災害現場への出場（平成26年度からのデータ）



※1 早期運用の「試行実施」 ※2 早期運用の「本運用開始」
従来は、現場に出場した消防隊が挟まれ等を確認しないと東京DMATを要請できなかったが、早期運用開始により、19番通報時に「①挟まれ、下敷き」、「②脱出不能」、「③高エネルギー」の3つのキーワード、すべてを聴取できた時点で、東京DMATを要請できるようになった。

東京DMATの配置状況



(2) NBC災害等の発生に備えた取り組み

- NBC災害等発生時における体制の構築
 - ・平成25年度 NBC災害発生時活動要領の策定
 - ・東京DMAT NBC特殊災害チーム創設（5施設指定）
（使用する資器材（防護衣等）・化学剤拮抗薬の配備）
 - ・平成26年度 NBC災害対策セミナー
東京DMATインストラクターを対象に、「東京DMATによるNBC災害の対応」について教育を行い、院内教育時における指導者を養成した。
 - ・平成28年度 NBC災害対応研修（座学・実習・演習）
東京DMAT隊員を対象に、C災害対応を含むNBC災害現場での活動内容を習得させることを目的に研修を行った。
 - ・東京都災害拠点病院に対するNBC災害対応研修の実施（82施設）
平成29年度から3か年計画にて、全東京都災害拠点病院を対象に研修を実施し、本研修の講師を東京DMATインストラクターが担当した。
 - ・平成30年度 東京DMAT隊員を対象とした止血帯（ターニケット）取扱講習
止血帯（ターニケット講習）を実施し、本研修の講師を東京DMATインストラクターが担当した。



(3) 関係機関との連携訓練への参加

- 関係機関との連携体制の構築
主に東京消防庁が主催する訓練に参加し、東京消防庁との連携要領の習熟及び他関係機関との連携強化、相互理解を深めることを目的に参加している。

